

令和4年度幼稚園学校評価（出雲市立高松幼稚園）

分 野	評価項目	評価の着眼点	自 己 評 価		学校関係者評価	評価結果を踏まえた今後の取り組み
			達成及び取組状況	評価（点数式）	評 価（記述式）	
教育課程・指導	①学年・学級経営	教職員は、教育目標の達成を目指した学級経営を行っているか。	教育目標の達成に向けた学級経営に努力し、それぞれの発達段階に応じた体験活動や遊びについて、職員間で連携、話し合いを重ねて取り組んだ。	4	○コロナ禍で幼稚園に出かける機会が少ない中、運動会や発表会、作品展が見れ、子供たちの成長をとても感じることができた。 ○行事などのねらいに基づいて、効果が出るよう教師が子供に接し、教師が一人一人の園児をしっかり見て、個性を尊重していることがよく分かった。 ○生活発表会や作品展など、内容がとても濃く、工夫されており、一年一年の積み重ねや子供と教師の一体感を感じる。 ○行事を見て、子供同士の助け合いの場を見ることができ、成長が感じられ嬉しかった。 ○一人一人の幼児理解がなされ、それぞれの行事でその子の良さを引き出したり、子供の思いを汲み取ったりされていると感じる。 ○高松の地域へ出かけての体験活動がなされ、井上恵助さんについて学んだりすること等、地域に関心を寄せて活動することはとても嬉しい。 ○クラスごとに、その年の子供の興味関心に添って遊びが異なり、その遊びが繋がっていることが、年間を通して分かった。 ○作品展を見て、とても手間がかかっており、あちらこちらに工夫が感じられた。 ○小学校区内に、幼稚園の他に保育園が数園あり、交流、連携の難しさを感じている。（小学校長）	○一人一人の個性や多様性を含む幼児理解をするために、今後も全職員で多面的に見ていく。 ○保育に対して一定の理解を得ることができたが、今後は、幼稚園に出かけていただく機会をさらに増やし、園児の姿を見ていただきながら、評価につなげていく。 ○高松幼稚園らしい、地域を巻き込んだ教育や毎年、そのクラスの子供たちの興味関心を基に遊びを創っていく保育に今後も努力していく。また、遊びの教育的価値付けを保護者や地域へ積極的に啓発していく。 ○保幼小連携について、できることから積極的に進めていく。
	②幼児理解	教職員は、一人一人の幼児の発達の姿から課題を捉えて保育を行っているか。	日常的に園児の様子を話し合ったり、全職員体制で園児の育ちを見守り、必要に応じて報告、連絡、相談をしたりしている。また、必要に応じて家庭や専門機関と連携し、育ちや課題について、情報を共有しながら、日々の保育にあたっている。	4		
	③特別支援教育	特別な支援を必要とする幼児の実態や課題を明確にし、計画的・組織的に指導を行っているか。	特別な支援を必要とする幼児に対し、担任以外の職員で多面的に見ることで、幼児理解をし、課題を明確にし、必要な援助を行うようにしている。また、担任と担当が常に連携を図り保育にあたっている。	4		
	④人権・同和教育	教職員は、自らの人権感覚を磨き、幼児に人権意識の芽生えを培うように配慮しているか。	教職員が積極的に研修会に参加したり、園内での研修を充実したりすることで自らの人権感覚を磨き、人権意識を向上させることができた。それが、子供の人権意識の芽生えを培うことになると捉え、取り組んでいる。	3		
	⑤行事	教職員は、行事を幼児の発達を促す機会と捉え、工夫、改善しているか。	行事のねらいを明確にし、園児の発達に添った内容や参加の仕方を工夫して行っている。また、昨年度の反省を生かしたり、感染症の状況等に留意したりして、その都度内容を検討して行っている。	4		
	⑥保幼小連携	近隣の小学校等との連携を密にし、なめらかな接続に努めているか。	園児、児童の交流活動はできなかったが、市幼研大会に校長先生に参加してもらい、保育を通して幼稚園教育の理解、推進に繋がり、小学校へ向けたカリキュラムについて、保育を通して伝えることができた。緊急対応等の連携については、課題である。	2		
家庭・地域との連携	⑦家庭・地域との連携	幼稚園と保護者、幼稚園と地域（未就園児等）との協力関係はできているか。	園児、児童の交流活動はできなかったが、市幼研大会に校長先生に参加してもらい、保育を通して幼稚園教育の理解、推進に繋がり、小学校へ向けたカリキュラムについて、保育を通して伝えることができた。緊急対応等の連携については、課題である。	4	○働く親にとって、保育園への入園が多いと感じるが、預かり保育の充実や、幼稚園教育の質の高さをもっと地域にアピールするとよい。	○幼稚園の取り組みや教育内容等、積極的に地域へ発信したり、地域行事の再開に合わせ、積極的に参加していく。
研修	⑧研究・研修	教職員一人一人が、園内外の研究・研修の機会を自己研鑽の場として受け止め、進んで研究・研修に取り組んでいるか。	出雲市幼稚園教育研究大会を受けたことで、一人一人が常に問題意識をもって、自己研鑽に励み、意欲的に保育実践を積み重ねた。また、職員間で連携、協力し研究について、深めていくことができた。	4	○地域には、保育園も多くあるが、教育的には、幼稚園が高いと感じている。 ○市幼研大会に参加し、質の高い保育内容で感心した。小学校に向かっていくような教育だと感じた。	○研究・研修会への積極的な参加と園内研修の充実により、職員一人一人の資質向上に努める。
組織運営	⑨園務	教職員は、他教職員と協働し、計画的に園務を遂行しているか。	職員の異動に伴い、行事等の内容や進め方について、職員会等で綿密な打ち合わせや確認しながら、進めていった。勤務時間の異なる補助教諭がいるため、クラス内で連携し、全職員協力体制の下で進めている。	4	○職員の協力体制ができており、円滑に進めている。	○何事も情報を共有し、助け合ったり協力しあったりする体制づくりを強化していく。
安全管理・保健管理	⑩危機管理	園の危機管理及び幼児の安全や衛生の管理体制を全教職員が理解し、適切な対応に努めているか。	コロナ禍により、急な対応が必要になった場合、マ・メールを利用し、全保護者や必要に応じて抽出配信をすることで、早急に適切な対応ができた。また、危機感管理マニュアルを全職員が理解、把握することで、避難訓練の実践に活かすことができた。	4	○新型コロナウイルス感染症が2類になることにより、今までと変わることもあると思うが、安全面への配慮として、きちんと市からの説明が必要と感じる。	○安心、安全な生活のために、感染症の取扱いや園内での生活について、市や他の幼稚園の情報を収集したり、連携したりしながら進めていく。
教育環境整備	⑪園地・園舎・遊具等の施設・整備	園地・園舎・遊具等の施設・設備を定期的に点検し、必要な改善・管理を行っているか。	毎月の点検を複数の目で行い、危険箇所や修繕の必要がある場合は、速やかに対応した。今年度は、絵本の部屋にカーテンを設置することで、物置場所と絵本のコーナーとを分けるよう整備した。継続要望が十分に叶わないが、今後も市へ要望していく。	2	○旧平田市との合併を機に、園舎改築の話がなくなった。老朽化が進み、生活に支障があるため、出雲市へ要望していく。 ○安全点検や毎日の清掃、管理はなされている。	○子供たちが生活しやすい環境になるよう、市との連携や要望を継続していく。

※自己評価の評価基準 4：十分達成している 3：概ね達成している 2：改善を要する部分がある 1：大いに改善を要する